

今号の

八尾プレ

読者アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で5名さまに、
新田ゼラチン株式会社「コラゲネイドつめかえ用パック+ミニボトルセット」をプレゼント!

5名
さま



無味無臭で飲みやすいから、
コラーゲンが苦手な人にもおすすめ!

コラゲネイド
つめかえ用パック(110g)
+ミニボトルセット
(専用つめかえボトル&スプーン)



商品詳細
はこちら

コラーゲンショップ
販売スタッフ
中村清美さん



さらに! 本誌をご持参の方に限り /

コラーゲンショップの店頭商品 **500円OFF**

※お一人さま1回限り、店頭でご購入者さまのお名前を
控えさせていただきますこと、あらかじめご了承ください ※有効期限2022年1月31日まで

コラーゲンショップカフェ
コーヒー1杯無料

※お一人さま1回限り ※有効期限2022年1月31日まで

▼読者アンケートはこちらから! (2022年1月31日締め切り)



左の二次元コードを読み取って、読者アンケートにお答えください。
当選結果は景品の発送をもって、発表にかえさせていただきます。

※読者アンケートは、八尾市観光協会の
WEBサイトからもご回答いただけます。

八尾市観光協会

検索

今回の八尾プレをご提供いただいた「新田ゼラチン株式会社」様の取材記事はP10・11へ

New information

「八尾のおみやげもん自動販売機」が誕生!

今月より、八尾市観光案内所内に「八尾のおみやげもん自動販売機」を常設! 魅力あふれる“八尾のええもん”を、非対面で気軽にご購入いただけます。ぜひ、観光案内やレンタサイクルをご利用の際に、「八尾のおみやげもん自動販売機」をチェックしてみてください。今後は定番商品だけでなく、季節商品やシリーズ商品などを市内の事業者さまと連携して開発していきますので、ぜひご期待ください!



五感で楽しむ
八尾のええもん



- 設置場所 八尾市観光案内所(八尾市北本町2-1 ペントプラザ20号)
- 営業時間 10:00~18:00
- 休館日 火曜日(ただし祝日を除く)及び年末年始(12月28日~1月5日)

八尾のおみやげもん商品例

- 八尾きつね山カレー 500円(税込)
- えだまめ・若ごぼう絵柄Tシャツ 1,000円(税込)
- 河内木綿ご祝儀手拭と名刺入れセット 2,000円(税込)



今号は「やおよろず掲示板」はお休みさせていただきます。

秋号でご応募いただいた **みんなの川柳「八尾の暮」** は、観光協会HPに掲載させていただきます▶



新 Yaomania

新Yaomania(シン・ヤオマニア)2021年 冬号(通算Vol.41) 発行日:2021年(令和3年)12月10日 発行部数:8,000部 企画・編集:株式会社シカトキノコ
発行:一般社団法人八尾市観光協会 〒581-0802 大阪府八尾市北本町2-1 ペントプラザ20号 TEL 072-997-6226 http://www.yaomania.jp

大阪・八尾の観光 & グルメ情報

TAKE FREE

Yaomania

【シン・ヤオマニア】2021年 冬号 Vol.41

「映画のまち・やお」へ、キックオフ。



今号の表紙: 八尾の魅力大使 青木崇高さん

もくじ

とびら | ペーパークラフト「八尾縁起熊手」 02~05 | 巻頭特集「映画のまち・やお」
06・07 | 八尾の情報館「イズミヤスーパーセンター八尾店」 08・09 | 八尾は聖徳太子と物部守屋
10・11 | 八尾プレ企業訪問「新田ゼラチン株式会社」 12 | ヤオマニアアック斬「八尾の妖怪伝説 砂かけ狐」
13・14・15 | 体験企画「與兵衛桃林堂/美術べつ甲館 八尾商店/赤坂金型彫刻所」

裏表紙 | 今号の八尾プレ「コラゲネイドつめかえ用パック+ミニボトルセット」、八尾のおみやげもん自動販売機



作家紹介

1973年、新潟県上越市生まれ・在住。(一社)日本パッケージクラフト協会理事長。パッケージクラフト作家として日本や東南アジアで展示会・ワークショップを展開。他に<型紙化計画><DMいじり>など紙工作関連の新しい楽しみ方を提案し作品を制作している。



パッケージクラフト作家
高橋和真

八尾市にちなんだものを集めて縁起物の熊手にしてみました。自由にレイアウトして飾ってください。これからも八尾市の魅力をどんどん発見して、年ごとに熊手が大きくなっていくよう願っています。

八尾縁起熊手

八尾縁起熊手

■作り方のコツ:切り取った部品を熊手の上に自由に並べます。位置が決まったら下の段から貼っていきます。最後に持ち手を熊手の裏面に貼って完成です。

—— 切り取り線 - - - - - やまおり



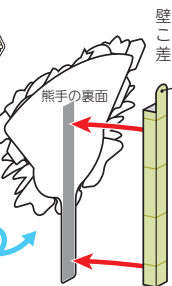
●あとから上の段の部品を差し込むため
部品の下側にのりをつけて貼ります。



作例

●持ち手は折り線で折って端を貼って四角い筒にします。熊手の中心に貼ります。

壁に飾る時はここに画紙を差します



八尾市観光協会

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

聖徳太子

八尾市の花・
キク

蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

尾羽が八枚の鶯

八尾枝豆

八尾枝豆

河内音頭

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市観光協会

熊手

のりづけ

尾羽が八枚の鶯

八尾市の花・
キク

蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

八尾枝豆

八尾枝豆

河内音頭

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市観光協会

熊手

のりづけ

尾羽が八枚の鶯

八尾市の花・
キク

蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

八尾枝豆

八尾枝豆

河内音頭

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市観光協会

熊手

のりづけ

尾羽が八枚の鶯

八尾市の花・
キク

蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

八尾枝豆

八尾枝豆

河内音頭

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市観光協会

熊手

のりづけ

尾羽が八枚の鶯

八尾市の花・
キク

蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

八尾枝豆

八尾枝豆

河内音頭

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市観光協会

熊手

のりづけ

尾羽が八枚の鶯

八尾市の花・
キク

蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

八尾枝豆

八尾枝豆

河内音頭

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市観光協会

熊手

のりづけ

尾羽が八枚の鶯

八尾市の花・
キク

蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

八尾枝豆

八尾枝豆

河内音頭

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市観光協会

熊手

のりづけ

尾羽が八枚の鶯

八尾市の花・
キク

蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

八尾枝豆

八尾枝豆

河内音頭

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市観光協会

熊手

のりづけ

尾羽が八枚の鶯

八尾市の花・
キク

蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

八尾枝豆

八尾枝豆

河内音頭

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市観光協会

熊手

のりづけ

尾羽が八枚の鶯

八尾市の花・
キク

蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

八尾枝豆

八尾枝豆

河内音頭

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市観光協会

熊手

のりづけ

尾羽が八枚の鶯

八尾市の花・
キク

蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

八尾枝豆

八尾枝豆

河内音頭

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市観光協会

熊手

のりづけ

尾羽が八枚の鶯

八尾市の花・
キク

蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

八尾枝豆

八尾枝豆

河内音頭

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市観光協会

熊手

のりづけ

尾羽が八枚の鶯

八尾市の花・
キク

蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

八尾枝豆

八尾枝豆

河内音頭

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市観光協会

熊手

のりづけ

尾羽が八枚の鶯

八尾市の花・
キク

蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

八尾枝豆

八尾枝豆

河内音頭

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市観光協会

熊手

のりづけ

尾羽が八枚の鶯

八尾市の花・
キク

蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

八尾枝豆

八尾枝豆

河内音頭

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市観光協会

熊手

のりづけ

尾羽が八枚の鶯

八尾市の花・
キク

蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

八尾枝豆

八尾枝豆

河内音頭

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市観光協会

熊手

のりづけ

尾羽が八枚の鶯

八尾市の花・
キク

蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

八尾枝豆

八尾枝豆

河内音頭

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市観光協会

熊手

のりづけ

尾羽が八枚の鶯

八尾市の花・
キク

蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

八尾枝豆

八尾枝豆

河内音頭

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市観光協会

熊手

のりづけ

尾羽が八枚の鶯

八尾市の花・
キク

蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

八尾枝豆

八尾枝豆

河内音頭

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市の木・
イチヨウ

八尾市観光協会

熊手

のりづけ

尾羽が八枚の鶯

八尾市の花・
キク

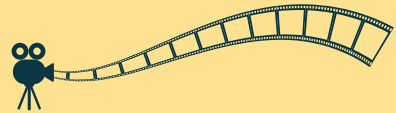
蓋形
(きぬがさがた)
埴輪

開運八尾

八尾枝豆

八尾の魅力を全国、そして世界へ発信！

「映画のまち・やお」への道。



八尾の魅力を全国にPRする事業の一環として「映画のまち・やお」に向けた取り組みがスタート！映画やドラマの撮影を誘致し、撮影事業者と地域をつなぐ窓口として、八尾市フィルムコミッションが立ち上がりました。今回は「映画のまち・やお」を実現するための意気込みや取り組みについて取材するとともに、そのキックオフとなるイベントの様子もご紹介します！

映画のまちへの第一歩、 八尾市フィルムコミッション始動！

八尾市フィルムコミッション活動ってどんなことなの？

市民はどんなふうに関われるの？

そんな疑問を、観光・文化財課の皆さんにお聞きしました！

— まず、八尾市フィルムコミッション立ち上げの経緯や目的について、教えてください。

「映画」をキーワードに、八尾の魅力を発信すること、八尾市民のつながりを深めること、この2つを大きな目標として発足しました。ここ2年ほど、コロナ禍で学校行事や地域イベントなどが中止になり、市民同士の交流やふれあいが希薄になりつつありました。そのため、八尾市民がみんなで関われるもの、つながりを生み出せるものは何かと考える中で出てきたのが、「映画」というキーワードです。八尾は映画監督の三池崇史さんや俳優の青木崇高さんの出身地ですが、お二人とも、八尾にしかない魅力がたくさんあると仰います。でもその魅力を、上手に発信できていないのが現状です。京都や神戸のような観光地もないと思っておられる市民の方も多いですが、情報の切り口や素材の組み合わせによって、魅力的に発信することは可能です。その発信方法のひとつとして、映画やドラマのロケ地として使ってもらうことを考えています。

— 具体的には、どんな取り組みをされているのでしょうか？

ひとつは、八尾でロケに使える場所の情報を集めること。北九州市の職員としてフィルムコミッションを担当されていた日々谷健司さんに「八尾市観光都市創造アドバイザー」として運営に関わっていただき、実際に市内のロケハンも行いましたところ、日々谷さんが仰るには、昭和の雰囲気が残っている場所がロケ向きとのことです。同じくアドバイザーをいただいている映画プロデューサーの竹内勝一さんも、「有名な観光地以外のところが観たい」と仰るので、文化住宅や長屋など、昔の街並みが残っているところをピックアップしていく予定です。

— ロケ地として求められているのは、普通の街並みなんですわね。

そうですね、他にも倉庫裏や廃墟など、意外なところを挙げておられましたね。工場や学校、大きなセットを組める広い土地も喜ばれるそうです。



— 市民参加はどのような形で進めていけますか？

現在は、広く市民ボランティアを募集しています。個人の方にはエキストラ出演や八尾の風景を撮影した写真の提供など、事業者の方には資機材や消耗品の提供・貸与などのご協力を呼び掛けています。7月から募集をはじめて、すでに80名近い登録をいただきました。八尾市役所内でも、課の垣根を越えてボランティア参加してくれている職員が多いです。

— 映画やドラマのロケが来ることで、どのようなメリットがあるのでしょうか？

八尾のまちが全国に発信されて知名度が上がることもそうですし、自分のまちが映画やドラマの舞台になることがシブイクブライドの醸成にもつながります。また、ロケ隊が来ることでまちの活性化、にぎわいの創出も期待できます。例えば画面に映らなくても、スタッフさんに八尾の名産品やものづくりを知っていただくだけでも、意味はあると思います。

— 誘致活動の手ごたえは、どのような感じですか？

実はすでにいくつか問い合わせをいただいでいて、数件ロケも行われました。大阪観光局や大阪フィルム・カウンスルとも連携しながら、少しずつ実績を作っていきたいと思っています。

— これからが楽しみです！最後に、今後の活動についても教えてください。

八尾市の魅力を映像で発信するために、まちのPR動画を市民参画で制作したり、市民の方が作成されたPR動画や市民団体等の活動を紹介する映像なども、ホームページに集約していきたいと考えています。また、市民の皆さんに、撮影に協力するメリットをしっかりと周知することも大切な仕事。いろいろな形で関わっていただき、皆さんと一緒に楽しみながら盛り上がっていききたいと思っています。住んでよかったと思ってもらえるまちづくりのひとつとして、「映画のまち・やお」をめざして、私たちも全力で取り組んでいきます。

八尾市フィルムコミッションを担当する八尾市 観光・文化財課の南昌則さん、富宅敬子さん、富山彰さん。撮影誘致という初めてのプロジェクトについて、「たくさんある八尾のいいところを発信して、市民の皆さんが“自慢したくなる八尾”をめざします！（富宅さん）、「個人的にも八尾がロケ地になるのは楽しみですし、派手なアクション映画が八尾で撮影できたらうれしいですね（富山さん）」と、楽しみながら取り組んでおられます。



八尾市フィルムコミッションの詳細はこちら



市民ボランティアの参加方法などはこちらから

八尾の魅力大使 青木崇高さん登壇！

キックオフイベント開催！

10月23日（土）アリオ八尾1階レッドコート

八尾市フィルムコミッションの立ち上げにあたって開催されたキックオフイベントは、八尾の魅力大使を務める俳優の青木 崇高さんも登壇。「映画のまち・やお」への機運を高めるトークセッションなど、熱気にあふれたイベントの様子をレポートします！

八尾高等学校吹奏楽部が演奏する「グレイテスト・ショーマン」メドレーでイベントがスタート。八尾市ダンス協会のパフォーマンスでさらに熱気が高まったところで、大松桂右八尾市長が壇上へ。「フィルムコミッションはひとつの器。そこに人や自然など、八尾の自慢をたくさん入れて発信していきます。人と人のつながりが薄れている今だからこそ、皆さんの力をお借りして、市民総参加で八尾の魅力を全国さらに世界にアピールしていきましょう！」という力強い挨拶に、大きな拍手が沸き起こりました。

続いては、北九州市のフィルムコミッションを成功に導いた日々谷健司さんによる基調講演。「映画で八尾はどのように変わるのか？」をテーマに、誘致成功の戦略、まちにもたらされる効果などをお話くださいました。

そしていよいよ、青木崇高さんが登場。大松市長、日々谷さん、映画プロデューサーの竹内勝一さんと熱いトークを繰り広げます。「八尾には他にはない魅力がある。大阪とひとくりにされるのではなく、八尾のアイデンティ



青木さんの母校でもある、八尾高等学校吹奏楽部による演奏。



八尾市ダンス協会による圧巻のパフォーマンス。



「市民総参加で八尾を映画のまちへ！」と大松市長。



日々谷さんの奮闘により、今では「なんでも撮れる北九州」と言われるまでに。

イベント終了後の青木さんを直撃！コメントをいただきました！



— 八尾フィルムコミッションが始動しますが、プロジェクトに対する思いをお聞かせください。

八尾を離れて20年になりますが、離れないと見えない魅力ってあるんですよ。住んでいるときには当たり前だったものが、外から見ると面白い。撮影でさまざまな地方に行った中でもそう感じましたし、一緒に仕事をしてきた日々谷さんや竹内さんから見ても、八尾には素晴らしいコンテンツがある。それを再発見して盛り上げていく、そのひとつの方法として、映画があると思っています。

— 青木さんが思う、八尾ならではの魅力とは、どんなところでしょうか？

まちとしてのポテンシャルの高さ、特にエンタメの可能性は大きいと思います。例えば、音に強い八尾空港で音楽フェスをする、国道沿いの久宝寺緑地でドライブインシアターをするなど、いろいろな企画ができる。河内音頭は東京の錦糸町でも開催されていて、何万人もの人を動員しているのですが、錦糸町と八尾で同時にパブリックビューイングをしたり、掛け合わせて魅力を発信することができると思うんです。そう考えると、八尾の可能性はすごく大きいし、八尾の皆さんもそのポテンシャルを信じてほしいと思います。

— 映画に関して、八尾には『悪名』という名作がありますが、主人公である「八尾の朝吉」を演じてみたいというお気持ちは？

作品として出させてもらえるならうれしいですが、八尾出身の僕が朝吉をやるより、例えば僕が

ティを構築することが大切（青木さん）」「フィルムコミッションは、言わばスタッフの一員。ぜひ八尾の皆さんにも、映画をつくる仲間になってもらいたい（竹内さん）」「撮影しやすいまちとして認知されるよう、皆さんでウェルカムな空気づくりを（日々谷さん）」などの意見が交わされ、最後は大松市長の「市内に点在している魅力を、映画を通じて面にしていきたいですね」という言葉でトークセッションは終了しました。

イベントはさらに続き、八尾で映画にまつわる活動をされている「やお80映画祭実行委員会」の今辻貴詩さん、「8ミリフィルム同好会」の鈴木昌宏さんが登壇。フィナーレは八尾市ダンス協会と八尾高等学校吹奏楽部によるダンス×演奏で、華やかに締めくくられました。

ここから始まる「映画のまち・やお」への道。その先にはきっと明るい未来があると、希望と期待が大きく膨らむイベントでした。



映画の仕事で長い付き合いという青木さん、日々谷さん、竹内さん。



映画の話から、八尾で過ごした子供時代の思い出まで話題は尽きず。



今辻さんは、短いのに十分伝わる80秒の映画作品を紹介。



8ミリに記録された約45年前の八尾の映像を発表する鈴木さん。



最後は、八尾の魅力コンテンツである吹奏楽×ダンスのコラボ！

モートルの貞を演じて、朝吉役をアリオ八尾で公開オーディションするとかね。そのほうが話題にもなるし、面白い。遊び心を持って考えたほうが、広がりがあると思います。

— なるほど！まちとしてどう面白くなるか、という視点で考えておられるんですね。

もちろん、具現化が難しい部分も当然あると思います。映画製作がどれほど大変かも十分知っていますから、フィルムコミッションという土台ができたので、これから少しずつ丁寧に、経験と実績を積み重ねていくことが大切だと思っています。

— ここが、スタートラインということですね。

僕自身も勉強しながら、まちづくりに関わっていききたいですね。まちづくりってもしかしたら、究極のエンタメかもしれない。人や文化が育っていくのは素敵なことだと思うので、僕はしっかりそれをお手伝いできたらと思っています。

「悪名」!

八尾に魅せられた作家 今東光が描いた景色



八尾の地名を全国に広めたのが、1961年公開の映画『悪名』。今東光の人気小説を勝新太郎主演で映画化し、空前の大ヒットとなりました。主人公はその名も、「八尾の朝吉」。けんかつ早い情には厚い河内男の痛快っぷりが評判を呼び、全16作の人気シリーズとなりました。『悪名』のほかに今東光は、八尾を舞台にした“河内もの”と呼ばれる小説を100編以上残しています。なぜそれほどまでに、今東光は八尾を描こうとしたのか。今東光は八尾のどこにそれほど惹かれたのか。その秘密を探るべく、八尾図書館3階にある今東光資料館を訪ねました。



文壇を離れて出家、 53歳で住職として八尾の地へ

今東光の生まれは横浜。外国航路の船長だった父の仕事の都合で、小樽や神戸など港町を転々として育ちます。画家を夢見て上京しますが、絵の世界ではまわりの天才に圧倒され、文学の道を志すように。そこで川端康成や菊池寛らと出会い、『文藝春秋』の創刊にも関わります。作家としての地位を得て順風満帆に見えましたが、菊池寛と喧嘩したもとを分かち、次第に文壇と距離を置くようになります。

文壇を離れた今東光は1930年に出家し、天台宗の僧侶になります。そして1951年、八尾市中野（現在の西山本町）の天台院に特命住職として赴任。今東光、53歳のことでした。この新天地に赴いたことが、その人生を大きく変えていきます。

本山からやってきた住職について、近所の檀家さんたちは「今度の住職はなにやら面白い人らしい」と噂し、天台院はいつしか人々が集うサロンのような場所になっていきます。今東光本人が不在でも、檀家さんたちが勝手に上がつてわいわい賑やかにやっていたとか。そんな河内の人々と親しく付き合っていくなかで、再び今東光の作家魂に火が付きまします。

今東光が河内の風物の中でも繰り返し描いたのが、「闘鶏」です。軍鶏（シャモ）同士を闘わせる「闘鶏」は当時の農閑期の娯楽で、八尾でも盛んに行われていました。今東光はよほどこの闘鶏に惹かれたと見え、2年を費やして『闘鶏』という小説を取材・執筆。小説や映画『悪名』にも、闘鶏に関するシーンが描かれています。

文壇に復帰した今東光は、1957年には河内出身の女性を語り部とした『お吟さま』で第36回直木賞を受賞。河内の外から来た今東光は河内の魅力に取りつかれたかのように、怒涛の勢いで、『山椒魚』『テント劇場』『河内風土記』『弓削道鏡』など、河内の人々、風土、歴史を取材した“河内もの”を次々と発表していきます。



資料館に展示されている略年譜が示すのは、波乱に満ちた79年の生涯。八尾を離れた後は千葉県佐倉市へ転居し、テレビ出演や雑誌の人生相談でも人気を博しました。

文豪・谷崎潤一郎も、 八尾では「おっさん」扱い

あまりに今東光が八尾に魅せられているので、興味を持ったほかの作家が八尾を訪れることも。師である谷崎潤一郎も八尾を舞台にした小説を構想し、天台院を訪ねています。その際、谷崎に「えらい先生ちゅうんはこのおっさんだっか!」と声を掛けたのが、「八尾の朝吉」のモデルと言われていた人物だったそうです。さすがの谷崎も、初対面の自分をおっさん呼ばりする人物には驚いたことでしょう。結局小説の執筆には至らなかったようですが、谷崎ならどんな八尾を描いたのか、そちらも気になります。

八尾に来てから、水を得た魚のように数多くの作品を執筆している今東光。これは八尾という土地が、今東光に「書かせた」と言っても過言ではありません。小説の本筋と関係なく河内の風物や慣習を挿入した記述も多く、今東光が河内のことを書き記したいという気持ちが行間からもあふれています。

「東京の人に褒められるより河内の人に褒められるほうが嬉しい」と言っていたことから、いかに八尾に親しみを感じていたかがわかりますが、なぜ、今東光はこれほどまで八尾に魅せられたのでしょうか。

今東光が八尾に来た1951年ころは、八尾「市」にはなかったものの、まだ村ごとの文化や風習が色濃く残っている時代。その独自性や郷土性に強く惹かれた今東光は、高度経済成長の流れの中でそれらが薄れていくことを危惧し、なんとか小説に書いて残したいと考えました。つまり、今東光を掻き立てたのは「薄れゆく河内の風土を書き残していく」という使命感。自らの筆で八尾の事物や風景、人々の暮らしを克明に描き、しかも極上のエンタテインメントにまで高めたのでした。

外から来た自分を受け入れてくれた八尾の人々のおおらかさ、実直さに惹かれ、その心地よさと異文化の刺激の中で24年という長い時を過ごした今東光。『悪名』の主人公「八尾の朝吉」とは、まさに今東光が八尾で出会った人々の魅力を凝縮したような存在だと言えます。八尾と今東光が生み出したこの希代のキャラクターは、日本中の多くの人を魅了し、時代を超えて今なお愛され続けています。



絶版が多い今東光の書籍を結集。棟方志功や向井潤吉らによる美しい装丁も見ものです。『東光太平記』の生原稿や『文藝春秋』の創刊号など、文筆活動に関わる展示も充実。幅広い交友関係を示す「今東光が会った人々」も必見。



朝吉は東京弁だった!? 脚本に書かれた意外な設定

「今東光資料館」では現在、「続・悪名」展が開催されています。この展示では、『悪名』シリーズの大半を手掛けた脚本家の故・依田義賢（よだ よしかた）氏所蔵の資料等を紹介。同時に、今東光が原作の小説『悪名』中に散りばめた「八尾に関する描写」をピックアップし、今東光が紹介したかった「八尾の魅力」にスポットを当てています。

この展示で興味深かったのが、当初脚本に記されていた主人公朝吉のセリフ。東京出身の勝新太郎に河内言葉は難しいだろうと、朝吉は東京で一度就職して、おかしな東京弁を身に付けて帰ってきたという設定になっており、そのことを説明するセリフがありました。もし朝吉が東京弁だったら……おそらく映画はヒットしなかったのではないのでしょうか。威勢の良い河内弁だからこそ、朝吉のキャラクターは成立します。幸いにしてキャストの中に河内出身の俳優さんがおり、その方の指導によって勝新太郎は河内弁をマスター。おかげで迫力も魅力も満点の「朝吉親分」像ができあがったのでした。八尾市出身の映画監督の三池崇史さんや俳優の青木崇高さんも、東京で八尾出身ですという、ああ八尾の朝吉の!と言われるというエピソードを語っておられることから、いかに「八尾の朝吉」の存在が大きいかがわかります。

24年という月日を暮らし、愛し、描いた八尾。今東光が筆を尽くして書き残そうとした八尾の風景は、今もその面影を残しています。映画や小説を通じて、ぜひ今東光が愛した八尾を体感してください。



今東光資料館

※「続・悪名 ～小説『悪名』映画『悪名』のエピソードを綴る～」は令和4年3月13日（日）まで

【開館時間】午前10時～午後5時
【休館日】月曜日（ただし祝日は開館）・年末年始（12月29日～翌年1月4日）
※その他、臨時休館あり
〒581-0003 八尾市本町2-2-8（八尾図書館3階）
TEL 072-943-3810



八尾のロケ地 スポット

八尾市フィルムコミッションが発足し、ロケ地の誘致活動がいよいよスタート!でも実はすでに、八尾には映画やドラマのロケが行われたスポットがあるってご存知でしたか?ぜひ、映像でもチェックしてみてください!

八尾市文化会館ブリズムホール

ドラマ「探偵・由利麟太郎」
(2020年6月16日～7月14日)

関西テレビで放送された、横溝正史による『由利麟太郎シリーズ』を原作とするテレビドラマ。新型コロナウイルスの臨時休館前に、大ホールで一部のシーンが撮影されました。現在ブリズムホールは、改修のため休館中。改修の様子などはWEBでぜひチェック!
【住所】〒581-0803 八尾市光町2-40



改修の様子



公式HP

料亭 山徳

ドラマ「破門」
(2015年1月9日～3月6日)

黒川博行の大人気ハードボイルド小説を、BSスカパー!でドラマ化。第一話でイケイケヤクザの桑原が、建設コンサルタンの二宮に豪華な食事をふるまうシーンが、料亭山徳で撮影されました。創業は文久三年（1863年）の歴史ある料亭で味わえるのは、四季折々の旬の素材を生かした伝統の日本料理。一度は訪れてみたい、憧れの名店です。
【住所】〒581-0003 八尾市本町4-3-28



Instagram



公式HP

玉串川

劇場アニメ「ジョゼと虎と魚たち」
(2020年12月25日公開)

田辺聖子原作の小説をもとに制作された長編アニメーション作品。ジョゼの家がある場所のモデルになっているのが、八尾市東部を流れる玉串川。川沿いを歩けば、映画に登場するシーンを思わせる風景に出えるかも。近鉄河内山本駅から北側2kmと南側3kmの川沿いには約1000本の桜が植えられていて、八尾有数のお花見スポットとしても有名です。



八尾市HPによる玉串川紹介

近鉄高安車庫

映画「味園ユニバース」
(2015年2月14日公開)

大阪・千日前の「味園ユニバース」を舞台にした映画。主人公が顔を洗うシーンで、近鉄高安車庫のトイレが使用されました。近鉄高安車庫は近鉄を代表する車両基地で、その敷地面積は約73,000㎡。特急車両や団体専用車両等が収容されています。特別なイベント等を除いて入場や見学はできないので、車庫の様子は近鉄大阪線の高安駅と思智駅の間を通るときに車窓から見るのがオススメです!



いつかロケ地候補になるかも!

※各施設の休館日をご確認の上、お立ち寄りください。

市内歴史施設&観光魅力スポットスタンプラリー

市内の文化財施設や観光スポットなど4つのスポットに立ち寄りながら、八尾の「いいところ」を再発見してみませんか?あなたが見つけた魅力的なポイントが、将来映画やドラマのロケ地になるかも!

4つのスポットすべてを回った先着20名に歴史記念品をプレゼント!(*ご家族の場合、ひと家族さまに1つ)

Start!

八尾市 観光案内所

スタンプラリーの台紙はこちらで配布。併設のやおサイクリングステーションでは、観光に便利な自転車も貸し出し中! (普通車200円)

スポット1

安中新田会所跡 旧植田家住宅

江戸時代の大和川付替えの後に開発された安中新田の会所跡である建物を修復。昔の暮らしが体験できます。

スポット2

八尾市立埋蔵 文化財調査センター

河内平野の遺跡や土器などがわかる展示室や出土品の整理作業の様子が見学できます。

スポット3

八尾市立おんじ やま古墳学習館

全長160mの巨大前方後円墳を復元した古墳とミュージアムがあり、埴輪などの出土品、埋葬施設の実物大模型の展示が見学できます。

スポット4

八尾市立 歴史民俗資料館

市内の歴史を物語る文化財を展示。スタンプラリー期間中は、称徳天皇と道鏡の復元衣装を展示、記念写真も撮影できます!

【開催期間】
令和4年1月12日（水）
～2月13日（日）



祝☆グランドオープン！ 店長さんに聞く、こだわりと見どころ。

イズミヤスーパーセンター八尾店がすべての改装を終え、11月ついにグランドオープン！開業から18年、八尾店史上初にして最大規模の改装となった今回のリニューアルについて、新しい売場のこだわりや見どころなどを取材してきました！

小林店長！新しい八尾店の魅力について、教えてください。

今回のリニューアルの最大の目玉とも言えるのが、毎日の生活に欠かせない食料品売場。イズミヤ株式会社の直営部分であるこの売場を担当する小林店長に、お話を伺いました。

イズミヤ
スーパーセンター八尾店
店長 小林浩志さん



—8月から始まったリニューアルも、ついに完了ですね。

11月12日（金）のグランドオープンをもって、装いも新たに生まれ変わりました。八尾店始まって以来の大リニューアルでしたので、たびたびの休業や工事などで皆さまにはご迷惑をおかけしました。その分さらに便利に、快適にパワーアップしております！

—なぜここまで大規模なリニューアルされることになったのでしょうか？

八尾店はイズミヤ初のスーパーセンター業態として2003年に開業したのですが、当初はワンフロアに衣食住の全てが揃い、集中レジでお会計をするスタイルが新しく、週末ともなれば若いファミリー層を中心にたくさんのお客さまが来店されました。私は開業当時、この店舗におりましたので、その盛況ぶりはよく覚えています。それから約20年、商圏の状況もお客さまのライフスタイルも変化しています。今回のリニューアルでは、品揃えや売り方を見直し、時代のニーズに

合わせた店舗作りを目指しました。特に子育て世代のお客さまに足を運んでいただけることを意識しています。

—今回のリニューアルでは、食料品売場が新しくなりましたね。冷蔵ケースや什器類も一新、レイアウトも変えています。イズミヤと言えば、やはり「食」。新鮮でおいしいものを、手軽な価格でご提供できるのが私たちの強みです。そこにエイチ・ツー・オーリテイリンググループの商品力も加えて、ワンランク上の品揃えを実現しました。スーパーの鮮度と価格に百貨店の品質をプラスした、これまでにない売場になったと思います。

—イズミヤの中でも、八尾店は特別ということでしょうか？

物流など見えない部分も含め、新しいチャレンジをたくさんしています。初めてのことはばかりですが、私自身もこれからの八尾店が楽しみです。ぜひ皆さん、生まれ変わったイズミヤスーパーセンター八尾店にお越しください！



イズミヤと27の専門店ですさらに便利で快適なお店にリニューアル。個性豊かな専門店が充実したことで、これまで以上にお買い物が楽しくなりそうです！

小林店長の太鼓判！新しい食品売場は「ここがスゴイ」

おすすめポイント
その1 生鮮品の「鮮度」が違う！

「肉、魚、野菜の鮮度には自信があります！」と小林店長。肉は質の高いものを塊で仕入れ、店内でカットしたてを販売。魚も水揚げから速やかに店頭で並ぶよう、仕入れを工夫しています。新鮮な魚を使ったお寿司もおすすめです。八尾の地場野菜を取り扱う「さんさん市場」もさらに充実！



おすすめポイント
その2 大容量で買うのがお得！

大型パック、まとめ買い、ケース買いなど、どっさり買うのがお得！このコストの良さは、子育て世帯にはうれしいところ。大型パックの持ち帰り用風呂敷が無料で用意されているのも魅力です。大型カートも新しくなったので、スムーズにお買い物ができます。



おすすめポイント
その3 八尾店の「新名物」が誕生！

あんがぎつり詰まった「うすかわあんぱん」は、あん好きにはたまらない一品。「実は甘さは控えめで、ペロリといけるんです」と小林店長。この断面はバズるかも！



おすすめポイント
その4 百貨店のような品揃え！

「アンリ・シャルバンティエ」や「匠匠壽庵」などを取り扱う、阪急百貨店おすすめのデバ地下スイーツギフトコーナーが登場。百貨店に行かなくても、八尾店で購入できるんです！



おすすめポイント
その5 イベントが目白押し！

生まぐろの解体実演販売や境港鮮魚市など、毎週末はイベントを実施。市場の雰囲気味わえるイベントなど、新たな企画も進捗中とのこと！



待望の「無印良品」がオープン！こちらの店長さんにも聞いてみました

「できるらしい」という噂が秋ごろから飛び交っていた無印良品も、ついにオープン！お店のコンセプトや品揃えについて、中村店長にもお話を伺いました。

—イズミヤに無印良品ができると聞いて、びっくりしました！

こちらの地域では、スーパー隣接の店舗は初めてになりますね。より地域のお客様にとって、身近なお店になれるといいなと思っています。ご近所付き合いの感覚で、毎日のお買い物のついでに立ち寄りいただけたらうれしいです。



—スーパーへの出店で、意識されたことはありますか？

ほかの店舗は囲いの中に作られることが多いのですが、こちらはオープンな空間なので、気軽にお入りいただけるのではと思います。これまで無印良品をご存知なかった方にも、手に取っていただける、知っていただける機会になったらいいなと思っています。

—ちなみに商品は、どのようなものを取り揃えておられますか？

ふだんの生活の中で使うもの、食料品と衣料品と日用品がメインです。食料品は特に、冷凍食品に力を入れました。衣料品もパジャマや靴下など日常で着るものを、キッズサイズもご用意しています。朝起きてから夜寝るまでを心地よく過ごしていただけるように、と考えて取り揃えました。



—例えば、八尾店ならではのアイテムなどはありますか？

無印良品では「ローカル20」という取り組みをしていて、各店舗が地域とつながった売場を展開することを進めています。先行して実践している店舗では、地元の青果や名産品の販売などを行っていますが、私たちも八尾の地域の方と一緒に何かできたらと考えています。八尾はモノづくりの街と聞いていますし、河内木綿や老舗の和菓子屋さんなど気になるところもたくさんありますので、これから八尾のことをいろいろ教えていただけたらうれしいです。また、こちらの地域の特性に合わせた防災グッズなども、お客さまと一緒に考えながら揃えていきたいと思っています。

無印良品
イズミヤスーパーセンター八尾店
店長 中村あずさん



—八尾のまちの印象はいかがですか？

ご近所の方もお店の方も気軽に声を掛けてくださって、人とつながれるまちなのかと感じています。空港や古い街並み、信貴山の自然など、落ち着いたらゆっくりまちを見てみたいです。

中村店長のおすすめ！

無印良品は「ここがスゴイ」

「冷凍食品の品そろえには力を入れました」と中村店長。冷凍ショーケースの大きさは、一般的な店舗の約2倍だそうです。人気商品はなんとキンパ！はかにもフライパン調理で手軽におかずができるミールキットなど、気になる商品がたくさん。

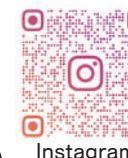


Twitter

イズミヤ スーパーセンター八尾店

〒581-0036 八尾市沼1-1
TEL 072-948-3330 営業時間 9:00～21:00

※諸事情により営業時間が変更になる場合がございます。



Instagram

古代ファッションは意外とおしゃれ！

飛鳥時代の衣装を解説

聖徳太子が生きた飛鳥の時代、人々はどんなものを着ていたのでしょうか。実は、これまでこのプロジェクトが公開しているシネマ



ティックブイログやspan!による解説動画の衣装は、飛鳥時代の貴族が着用していたとされる服装を再現したものです。今回はその衣装の特徴について、古代衣装を研究・製作されている山口千代子先生に取材しました。

— 飛鳥時代の貴族の服装の特徴を教えてください。

飛鳥時代、貴族の男性は、冠位十二階によって冠の色で身分を表し、冠と同じ色の衣服を着ていました。天武・持統朝になると、冠は黒一色になります。長い上着は、腰の部分をひもで結び、裾からはブリーツ状の「褶（ひらみ）」が見えます。下は「袴」を履いています。女性の衣装は褶ではなく、上着の中に着ている内着の袖や裾が外に見えています。下は袴ではなく、「裳（も）」という巻きスカートを履いていました。

— 時代によって、衣装にも変化があるんですね。

衣装は政治的に関わりのある国のデザイン・文化の影響を受けてきました。飛鳥時代は朝鮮半島、奈良時代は唐の文化。その後、平安時代に遣唐使を廃止した日本は、独自の「着物」文化が発展していきました。

— 古代衣装の研究・製作を始められたきっかけは？

毎年開催される「正倉院展」の服飾宝物を見たことに始まります。20年前から趣味として製作し始めた奈良時代の衣装を皮切りに、その前の時代はどうだったのかとどんどん興味が出てきて研究をし、高松塚古墳壁画にある衣装や飛鳥時代の衣装へと遡っていきました。

— 文様や装飾など、古代衣装の研究はどのようにされていますか？

正倉院の資料で勉強しています。正倉院には実際の衣装も残されており、それらを見ればサイズなどもわかります。服飾関連の宝物や仏像の衣装文様などを資料に古代衣装をよみがえらせています。



令和3年10月に行われた聖徳太子関連のイベントでも、古代衣装で本プロジェクトをアピール。



span!によるブイログの解説動画も、水本さんが山口先生が手掛けた衣装を着用。



山口先生が製作された飛鳥衣装を着用したシネマティックブイログ。飛鳥と現代が交差する映像は、歴史の流れの中に現代の私たちが生きていることを感じさせます。



— 衣装を再現する上で、大切にされていることは？

なるべく忠実に再現したいと思っています。実は、衣装はほとんどリサイクルの古着物・帯で製作しています。古着物・帯の中から古代の文様を探すと、見つけれられたときの喜びが醍醐味です。1300、1400年前の文様が現代の着物に残っていることに、歴史のつながりを感じます。

— 最後に、衣装製作の魅力について、お聞かせください。

古代衣装を通じて、日本の歴史や文化を身近に感じられるところが、何よりの魅力だと思います。実際に着て、見て、触れることで、実感として得られるものがあります。多くの人が衣服に関する文化に触れられる、身近に感じてもらえることを想像しながらの製作は楽しいものです。



山口千代子

奈良県香芝市在住。40年にわたり自宅で洋裁教室を開く。趣味の仏像鑑賞が高じて、奈良国立博物館で解説ボランティアを12年務める。その間、正倉院展出陳の服飾に興味を持ち、衣装製作を始める。現在は飛鳥～奈良時代の200年間に及ぶ変遷衣装の普及活動に注力。古代衣装に関する講座や製作指導も多く、博物館・資料館等での体験衣装も好評を博している。イベント等にも参加し、奈良県「天平祭」で500人、群馬県「上野国府まつり」では250人の衣装行列の衣装製作、構成や着付け指導を担当。テレビドラマや舞台等の衣装をはじめ、各地のファッションショーにも起用されている。

「万葉衣装企画」公式HP▶



衣装はここで見られます！



イベントで着用した衣装の一部を、八尾市立歴史民俗資料館で展示中！みづらを頭に掛けて、なりきり撮影もOK。「間近で衣装を見てみたい！」という方はぜひ「れきみん」へ。

八尾市立歴史民俗資料館

八尾市千塚3-180-1
9:00～17:00（入館は16:30まで）
毎週火曜日休館（祝日は開館）
※そのほか年末年始、展示入れ替えに伴う臨時休館有り

聖徳太子1400年御聖忌記念公演

歴史楽劇

和をもって貴しとなす 一幻説 聖徳太子一

日時：令和4年 1月21日（金）～23日（日）

場所：近鉄アート館（あべのハルカス近鉄本店ウイング館8階）

主催：株式会社バイタルアートボックス

後援：四天王寺、奈良県、八尾市、大阪市天王寺区、（公財）大阪観光局

公演時間、チケット料金など詳細は公式HPをご覧ください。

聖徳太子とその息子山背大兄王、二代にわたる壮大な挑戦、愛と悲劇が歌劇、演劇、ゴスペルの融合による新感覚の演出で描かれます。

主演：桜花昇ぼる（聖徳太子・山背大兄王）元OSK日本歌劇団トップスター
作・演出：北林佐和子 監修：北川央（大阪城天守閣館長）

主演 桜花昇ぼるさんからのメッセージ

私は、聖徳太子様が築き平和の祈りが込められた世界遺産の法隆寺がある奈良県斑鳩町で育ち「聖徳太子1400年御聖忌」の年に、聖徳太子役で舞台をさせて頂く事は夢でした。

公演の会場は、崇仏派の蘇我馬子に組した聖徳太子が排仏派の物部守屋との戦いで「いまし我をして敵に勝たしめば、かならずまに護世四天王の、おんために寺塔を建つべし」と祈願して戦勝したことから建立された四天王寺のそばです。八尾市は、四天王寺と法隆寺を結ぶちょうど間の地になり、沢山のドラマがあります。

そして、聖徳太子が物部守屋を滅ぼすにあたって、激戦地となった大聖勝軍寺はじめ、八尾市ゆかりの地を作・演出の北林佐和子先生、共演する鳴海じゅんさんとまわらせて頂きました。

私は、聖徳太子と息子の山背大兄王2役を演じます。二代に渡る壮大な挑戦、愛と悲劇を 歌劇・演劇・ゴスペル・太鼓・笛 の融合による新感覚で斬新に描くステージを、是非沢山の方にご覧きたいです。

また、この公演はクラウドファンディングが実施されております。何卒ご支援の程よろしくお願い致します。



演出の北林先生と共演の鳴海じゅんさんと



公演HP



クラウドファンディング

オリジナルグッズプレゼント！

聖徳太子クイズに挑戦

2021年春号から続くプロジェクト連携企画を読んで、クイズに挑戦しよう！全問正解者の中から抽選で、Tシャツやクリアファイルといったオリジナルグッズ（非売品）をプレゼント。

Q1 聖徳太子のこと。隋へ送る国書に記した。（春号より）
A 日出ずる B 日没する C 日照らす

Q2 聖徳太子と対立した人物。八尾を本拠地とし、市内には墓所が存在する。（夏号より）
A 蘇我馬子 B 小野妹子 C 物部守屋

Q3 聖徳太子が定めた。第一条には「和をもって貴しとなす」とある。（秋号より）「〇〇条憲法」
A 十二 B 十五 C 十七



3名様
プロジェクトTシャツ

10名様
プロジェクトクリアファイル

応募方法 右のQRコードを読み取り、クイズに回答してください。
※賞品の発送は2月上旬以降を予定しています。
※当選者は賞品の発送をもって発表とさせていただきます。



ヒントは、過去のヤオマニアをWEBでチェックしてみよう！▶



若かりし日の聖徳太子

絵伝で見る！

後世さまざまな神話化・伝説化され、その一生が絵画化されてきた聖徳太子。ここでは、「紙本著色聖徳太子絵伝」（大聖勝軍寺蔵・市指定文化財）の一部を紹介します。絵伝は母・穴穂部間人皇女の懐胎から始まり、太子の没後まで描かれています。今回は、聖徳太子が八尾の地に赴き物部氏と戦った16歳を中心に、「若かりし日の姿」に焦点を当てました。



2歳
「南無仏」と唱える

母・穴穂部間人皇女の隣で立って手を合わせる聖徳太子。東を向いて手を合わせ、「南無仏」と唱える様子で、この伝承に基づいて制作された像は多く、南無仏太子像と呼ばれる。



16歳
八尾を舞台に物部守屋と合戦

①聖徳太子が白膠木（ぬるで）の木で四天王像を彫っている。「この戦いに勝利したら、四天王を安置する寺院を建立する」と誓った。
②木の幹に隠れる聖徳太子。大勢の守屋軍に囲まれ窮地に陥ったとき、棕木の幹が割れ、そこに身を隠すことで救われた。八尾市の大聖勝軍寺にはこの棕木がある。
③物部守屋との合戦の様子。絵の左側には、守屋軍が稲城（稲でつくった砦）を築き応戦している。守屋が討たれて榎木から落ちる様子も描かれている。



27歳
黒駒に乗り富士山に登る

聖徳太子が愛馬・黒駒に乗って富士山に登る。聖徳太子が神格化されていることを示すものとして「聖徳太子が黒駒に乗って空から富士山に降り立った」という伝説がある。

振り返りコラム

春号から続く「聖徳太子没後1400年プロジェクト」×Yaomaniaの連携企画も、4回目の今号が最終回です。八尾は、聖徳太子を語る上で欠かせない「物部守屋との仏教を巡る争い」の舞台となった場所。日本における仏教興隆や神仏を巡る思案の起源は、八尾から始まったと言っても過言ではありません。八尾が聖徳太子と縁が深く、歴史上重要な場所であったことを皆さんに身近に感じていただけるよう、ホームページやSNSで発信していきますので、よろしくお願いします！



主催・連携事業



関連事業

八尾プレ 企業訪問

第8回



新田ゼラチン株式会社
コラーゲンショップ

地元・八尾の皆さんに、 元気とキレイを届けたい。



コラーゲンを素材にさまざまな製品を開発し、ゼラチン市場で国内トップシェアを誇る新田ゼラチン株式会社。リニューアルした本社・大阪工場の「コラーゲンショップ」にお伺いし、製品へのこだわりや、地元・八尾への思いなどをお聞きました。

100年超の歴史の中で、大きな転換期は2回



管理本部 工場管理センター
加藤 久和さん

新田ゼラチン株式会社の創業は、大正7年(1918年)。100年以上にわたり、動物の骨や皮などに含まれるコラーゲンを原料とした製品を製造・販売しています。工業用のにかわ・ゼラチンの製造からスタートし、現在は国内のゼラチン販売量の約60%を占めるトップ企業に成長。「いつまでも元気で若々しくいたい」という願いをコラーゲンで叶えることをビジョンに掲げ、フードソリューション、ヘルスサポート、バイオメディカルの3つの領域で事業を展開しています。

大正から令和という長い歴史の中で、社会のニーズや環境は大きく変化しています。その時代の波を、新田ゼラチンはどのように乗り越えてきたのでしょうか。管理本部の加藤さんは「その時々で、時代の需要に応じた商品を開発してきました」と話します。

近年では、2度大きな転換期がありました。そのひとつが、デジタルカメラの普及です。実は、ゼラチンは写真用フィルムの製造に欠かせない素材です。しかし、デジタルカメラの普及によってフィルムの需要が低下。新田ゼラチンではそこから、食品分野の研究開発に注力していきます。その成果は、現在のフードソリューション部門などで発揮され、グミなどの菓子やコンビニ惣菜、冷凍食品など、幅広い用途に活かされています。

もうひとつは、BSE(狂牛病)の発生です。当時大阪工場では牛骨由来のゼラチンを製造していたため、大きな影響を受けました。そのピンチを救ったのは、魚や豚などさまざまな素材からコラーゲンやゼラチンを抽出する技術力。牛骨以外の原料ソースに切り替えることで、難局を乗り切ることができました。

その高い研究開発力で、次に狙うは世界市場

時代の変化に対応しながら発展する、その姿勢は今も変わらず受け継がれています。「コラーゲンが人にどう役立つかを研究し続けているのが新田ゼラチンです」と元研究員で、現在は直販商品の販売に関わる井上さん。長年にわたるゼラチンの研究開発によって培われたのは、「ブレンド技術」と言います。ゼラチンは原料や抽出の方法、精製度合いで性質が変わります。それを、顧客のニーズに合わせて組み合わせ、カスタマイズできるのが新田ゼラチンの強み。「弊社でなければ、なかなかできない部分だと自負しています」。

一方、ゼラチンを酵素で分解したコラーゲンペプチドは健康食品としていち早く製品化に着手。効果を実証するために大学との共同研究も数多く行っており、中でも骨・関節に関する研究では、独自の成果をあげています。「変形性関節症」という膝の病気に対し、コラーゲンペプチドを摂ることで痛みのスコアが軽減したり、軟骨組織の再生が促進されるか等を研究しています。そこから派生して、スポーツニュートリションの分野でも大学と共同研究を進め、アスリートの運動負荷に対するケガ予防の可能性をヒト試験で実証しています。現在はさらに、糖尿病対策となる血糖値改善や動脈硬化対策となる血管の若返り効果、脳機能改善など、フレイルと呼ばれる領域で「高齢により心身が衰えた状態」を未然に予防し、「健康寿命」を支えるための研究を進めています。

コラーゲンの機能性研究と商品開発力で発展を続ける新田ゼラチン。その今後について、経営企画部の孫さんは、グローバル企業としてのさらなる成長を掲げます。「アジア諸国では人口増加や経済発展に比例してゼラチンの需要も増加し、コラーゲンの需要も今後さらに拡大すると考えています。日本国内だけでなく、海外の再生医療分野への進出や、健康機能性食品のアジア圏での販路拡大などを視野に、発展をめざします」。



ヘルスサポート事業本部
直販チーム 課長
井上 直樹さん



カフェスタッフ
松田悦子さん



塗るコラーゲンもおすすめ。モイストワンはハリと潤いに満ちた肌へ導くオールインワンジェル。



城西大学男子駅伝部と共同開発した「RUNSHOT」や、機能性表示食品「肌。(はだまる)」など、幅広い商品を展開。ふるさと納税の返礼品としても人気が高く、今後は組み合わせセットやペット用健康食品の追加も検討中。

八尾にこだわった豆と器。加藤さんが仕入れのため、各お店に交渉に行く、「新田ゼラチンさんがカフェ？」とびっくりされたとか。コラゲネイドは無味無臭なので、コーヒーの味わいを邪魔しません。



落ち着いた雰囲気のカフェ。カウンターとテーブル席のほか、春は桜が眺められるテラス席もあります。



これまでのリピーターさんに加えて、リニューアル後は新規のお客さまも増加中。



ショップだけの特別価格での販売もあります！

直営売店「コラーゲンショップ」が、 広く明るくリニューアル

新田ゼラチンが製造するコラーゲン製品は、八尾市のふるさと納税の返礼品でも高い人気を誇ります。特徴的なのが、リピート購入率が高いこと。多くの方が継続して飲用・使用されていることがわかります。そんな新田ゼラチンのコラーゲン製品を購入できるのが、大阪工場内にある直営売店「コラーゲンショップ」です。この11月に装いも新たにリニューアル、休憩できるカフェも併設されました。

広がったショップには、新田ゼラチンの人気商品がずらりとラインナップされています。売れ筋を伺うと、やはり定番の「コラゲネイド」が一番人気とのこと。「無味無臭でとにかく飲みやすいんです。味が無い分、飽きがこないのもいいところ。お味噌汁やスムージーに入れたり、皆さんいろいろな飲み方をされていて、こちらのほうが勉強させていただいています」とスタッフの増井さん。リピート購入やまとめ買いの方も多くいらっしゃるそうです。



経営企画部
孫 哲さん

地域の皆さまの健康を支え、 憩いの場となるように

「お買い物に来てくださったお客さまに、ほっとひと息ついていたいただける場所を」という思いからカフェを併設。地域の方の憩いの場になるようにと、コーヒー豆や器を「オール八尾」で揃えています。地元の「喫茶あきない」と「ハチマル珈琲焙煎所」のコーヒー豆、八尾在住の河内焼陶芸作家の宮崎なおさんの器は、加藤さんが直接依頼したこだわりの品。オープン前にはそれぞれのお店の方に、おいしい淹れ方をレクチャーしていただいたそうです。

そんな自慢のコーヒーと一緒に提供されるのが、「コラゲネイド」のスティック。実際にコーヒーに入れて、コラーゲンを気軽に体感することができます。人気商品をお試しできるところも、こちらのカフェの魅力です。

カウンターで接客してくださるスタッフの方は、なんと新田ゼラチンのOGの方。現在は2名の方が働いておられ、OGさんが働く場所を作ることもカフェを作る理由のひとつだったそうです。明るくにこやかに接客されるお二人の姿に、加藤さんの「まだまだ皆さん若くて元気ですから、活躍していただかない」という言葉にも納得でした。

「八尾の皆さまにコラーゲン製品を気軽にお楽しみいただき、毎日の健康づくりをお手伝いしたい」という地元・八尾を思う気持ちがあふれたコラーゲンショップは、心も体も元気になれる場所。ぜひ一度、足を運んでみてください。

新田ゼラチン株式会社 コラーゲンショップ



公式HPは
こちら

〒581-0024 八尾市二俣3-6-1 ☎0120-713-178
月～金 10:00～17:00(祝日は休業)、第4土曜11:00～17:00
※カフェは10:00～16:00(土日祝は休業)
<https://www.nitta-gelatin.co.jp/>

Present

今号の八尾プレ

5名
さま



「コラゲネイド」はコラーゲンペプチド100%。カラダに機能する活性型ペプチドをバランスよく、多く吸収できるよう作られています。

コラゲネイドつめかえ用
バック(110g)+
ミニボトルセット
(専用つめかえボトル&スプーン)

さらに!
本誌をご持参の方に限り、
店頭商品500円オフ
&コーヒー1杯無料(1/31まで)

詳細は裏表紙をご覧ください➡

カフェ
スタッフ
三村
康子
さん



知らんでもええけど知つてるとちよつとうれしい

ヤオマニアクク ばなし 其の8



大竹観音堂。十三峠に向かう旅人がよくお参りしたとか

八尾の妖怪伝説「砂かけ狐」を祀る大竹観音堂の稲荷社

日本全国各地に妖怪の伝説・伝承がありますが、民俗学者・柳田國男の著書『妖怪談義』や水木しげるの妖怪漫画にも登場する「砂かけ婆」はこどもたちに人気もあり、非常に知名度の高い妖怪でしょう。じつは八尾にも砂かけ婆ではなく、「砂かけ狐」という妖怪の話が残っています。

江戸時代、中河内郡の大竹村（現・八尾市大竹）から神立の水呑地蔵院（現・八尾市大字神立）へ登る道筋に「せんげん池」という水の綺麗な池がありました。しかし、そこにいつしか「砂かけ狐」が住み着いたといひます。

ある日、船場の大胆那が玉祖神社から水呑地蔵に参詣しようとして池の近くを通ると、そこで溺れて水死体で発見されました。真つ昼間のことで足元が見えなかったわけではありませぬ。また酒を飲んだ形跡もないので、酔っぱらっていたわけでもない。ある人は「泥棒に突き落とされたのだらう」と推測しましたが、懐から大金がでてきたので、物取りの犯行でもありません。まったく奇妙な事件で、村人たちは訝しがりましたが、結局、「これはおそろく池の畔を歩いていて、砂かけ狐に砂をかけられて、目がみえなくなって池に落ちたのに違いない」ということになりました。

船場の大胆那の水難事件のあと、しばらくすると、今度は近所の村のこどもが溺れるという水難事件が起こりました。この時は幸いにも池の近くを通りがかった農夫がいて、こどもを助けることができましたが、じつはこどもは村でも評判になるほど泳ぎが達者で有名でした。そこで親が「がたる（河童）にやられたか？」と聞きましたが、こどもは首をふります。「手足がしびれたか？」と聞いても首肯しません。「では一体どうしたんや？」と聞くと「空から砂が降ってきた」といって黙り込みました。



稲荷社を覗き込むと小さな白狐さまが置かれています



大竹観音堂の石碑

それから同じように池に落ちて溺れる者が続出し、何人もの犠牲者が出たので、このままではいけないと、ついに村には修験者が呼ばれることになりました。修験者は一晩中、護摩焚きをして秘法の術を施し、その結果、砂かけ狐の犠牲者が出なくなったといひます。しかし、これ以降、大竹村では「早く家に帰らないと砂かけ狐に砂をかけられるで」と脅されるようになり、こどもたちは寄り道せずに、夜になる前に、まっすぐ家に帰るようになったといひます。この砂かけ狐を祀ったのが大竹観音堂にある小さな稲荷社だといひます。

大竹観音堂は有名な国史跡の心合寺山古墳から東南の方角にあり、徒歩約5分ほど（約400メートル）で辿り着きます。四つ辻の東南側にありますが、東西の道は十三峠に繋がる十三街道（俊徳街道）で、かつては大勢の旅人が行き来した場所だろうと思われます。残念なことに、観音堂ができた経緯や由緒などはあまりよくわかっていませんが、お堂の中に祀られている雲中供養菩薩は、明治26年（1893）以前に大竹新池で出土し、その後、池の端で「べんずりさん」として祀られていたものといひます。べんずりさんはおそらく寶頭盧（びんずる）尊者が訛ったもので、参詣者が病氣や怪我など自分の調子の悪いところ、患部と同じ箇所を撫でると治るという「なで仏」の信仰があったようです。

その大竹観音堂の境内には観音堂以外に2つのお堂が仲良く並んでいて、そのうちのひとつ（右側）が砂かけ狐を祀っているという稲荷社です。お堂を覗き込むと、白狐さまが祀られているので、すぐに稲荷社とわかります。

どこにでもありそうな小さい稲荷社ですが、妖怪の伝説・伝承があるのは珍しいでしょう。八尾の民俗文化として、後世に伝え、大切に守っていききたい稲荷社です。

<参考文献>

『大阪伝承地誌集成』（三善貞司）、
八尾市文化財調査報告『史跡心合寺山古墳基礎発掘調査報告書』

観光家 陸奥 賢

まち歩きプロデューサーとして300以上のコースを考案。「大阪七墓巡り復活プロジェクト」「直観讀みブックマーカー」「当事者研究スゴロク」なども手掛ける。著書に『まわしよみ新聞のすゝめ』。



セメ子の攻め込み体験レポート

part3

與兵衛桃林堂で、和菓子づくりに挑戦！編

今回お邪魔するのは、八尾を代表する和菓子の名店「與兵衛桃林堂」。茅葺き屋根の店舗はなんと国の登録有形文化財に指定されています。そんな歴史ある老舗のご店主に、和菓子づくりを教わってきました！

「桃李もなか」の名前とおししさの秘密

——看板商品の「桃李もなか」ですが、この名前はどこから？

司馬遷の『史記』にある言葉、「桃李言わざれども下自ずから蹊（みち）を成す」から名付けたものです。桃の木の下には自然に人が集まり、いつしか道ができるように、ほんもののお菓子づくりをして、お客様に来ていただけるようにという思いを込めています。

——有名な俳優さんと同じ名前なんですね。

由来も同じだと聞いています。時折、ファンの方がお買い求めくださることもありますよ。

——「桃李もなか」のこだわりについて、教えていただけますか？
もなかのあんは、岡山産の備中大納言を使っています。とても良い小豆で、皮ごと生かす粒あんに向いています。最中種（皮）は焦がし皮と言って、しっかり焼いてあるのが特徴です。これは、古くから取り引きのある問屋さんに、うちのお店専用に焼いてもらっています。皮の香ばしさと小豆の風味、これがおししさのポイントですね。

築300年超、八尾市内で最も古い民家

——こちらのお店の建物は、非常に歴史があると聞いています。

江戸時代に建てられたもので、もともとは河内木綿問屋の建物でした。民家としては、八尾市で一番古い建物だと聞いています。



——今では珍しい茅葺き屋根にも驚きました。葺き替えもされているんですか？

10年ほど前に葺き替えました。実はどこに頼んで良いかわからず困っていましたら、知り合いの方が奈良にある庭園のお茶室で葺き替えしているところを偶然見かけて、職人さんに頼んでくださったんです。その棟梁さんは伊勢神宮の葺き替えも担当された方で、一般の住宅はあまりされないそうですが、有り難いことに引き受けてくださり葺き替えることができました。

——のれんや看板に記された屋号も、とても趣きのある文字ですね。

東大寺の管長でいらつやつた清水公照師に書いていただいたものです。與兵衛の字は、公照師が父に書いてくださった表札がもとになっています。

——長い歴史のある「與兵衛桃林堂」さんですが、今後の展望をお聞かせください。

コロナ禍によって在宅時間が増え、家でちよつとした贅沢を楽しまれる方が増えたように思います。慶弔事や記念日はもとより、今後は毎日の暮らしの中で楽しんでいただけるお菓子づくりに、より力を入れていきたいですね。



板倉晋平さん

「與兵衛桃林堂」店主。大学を卒業後、長野県小布施町の菓菓子店で修行。趣味の茶道歴は約20年、四季折々のお菓子づくりにも励む。



まずは「桃李もなか」に挑戦！



1

もなかの皮を手に取り、ヘラですくいとったあんを詰めます。言うのは簡単ですが、これが難しい！「皮にすりつけるように」するのがコツなのだそう。



2

え、こんなに！？というくらいあんを詰めたら皮を合わせて、はみ出たあんをきれいに整えれば完成。高級小豆「備中大納言」の粒あんがぎゅっと詰まった「桃李もなか」ができました！



続いて、「紅葉薯蕷」に挑戦！

山芋と砂糖を混ぜたものに米粉（薯蕷粉）を合わせた生地を小さく丸め、手のひらで押さえて広げます。すべすべもちもち、耳たぶのようなやわらかさ！

1



2

打粉をしっかりとはい、生地であんを包みます。「あん玉を軽く押さえて、くるくる回すように包むのがコツ」とのことですが、なかなかうまく包めません……。



3

ある程度包んだら、生地をつまんで閉じます。つまんだところを下にして蒸すのですが、蒸気が直接当たらない底のほうは、皮を薄くしたほうがおいしく仕上がります。



4

たっぷりの蒸気で約10分蒸し上げます。蒸したてのほこほこ、美味しそう！



5

お饅頭のでつべんに食紅をボンとつけます。そこに、焼き印をじゅつと押し付けると……赤く色づいたもみじの葉！かわいい「紅葉薯蕷」のできあがりです！



6

なんとか完成～！
「和菓子は包むのが基本の仕事。今日はその基本を体験してもらいました」と店主さん。生地にするするとあん玉が包まれていく様は本当に魔法のように、あらためて職人さんの技に感服しました！



與兵衛桃林堂（よへえとうりんどう）

〒581-0004 八尾市東本町2-5-12
TEL 072-929-3663
営業時間 9:00～18:00（月曜定休）





セメ子の攻め込み体験レポート

part4

八尾商店で、美術べっ甲飴を初体験！編

美術べっ甲飴とはその名のとおり、芸術品のような飴細工のこと。食べるのはもちろん、長く飾って楽しめる、八尾商店ならではの飴細工なんです。今回は二代目龍昇さんのもと、初めての美術べっ甲飴に挑戦しました！

大学時代に「父の跡を継ごう」と決意

—美術べっ甲飴というのは、初代の龍昇さんの考案ですか？
父は人を楽しませたり喜ばせるのが好きで、飴細工を始めたそうです。美術べっ甲飴は、型などに流し込むのではなく、分厚い鉄板の上に飴を直接流して絵を描くのが特徴ですね。飴を丸めてポンプで中に空気を入れることで、立体も作ることができます。



—お父様の跡を継ごうと思われたのは、何かきっかけが？
大学時代に一人暮らしをしていたとき、テレビの取材で「跡取りは？」と聞かれた父が、息子に継いでほしいようなことを言っていたんです。それを聞いて、じゃあ継ごうかと。
—直接言われたわけではないんですね。
父から絶対継ぐと言われていたら、反発したかもしれませんね。自分から継ぐと言った以上はしっかりやろうと思いましたし、父が考え出したこの仕事のおかげで学校に行かせてもらっているのだから、長男として継ぐのが当たり前だという思いもありました。1年は父の下で修業をし、2年目からは一人で売場を任せてもらえるようになりました。

鬼滅にプリキュア、流行もしっかりチェック

—美術べっ甲飴は、長く飾っておくことができるんですね？
乾燥剤を2〜3ヵ月ごとに入れ替えることで、何年も楽しむことができます。20年以上前の父の作品もきれいに残ってますし、5年10年と飾ってくださっている方もあります。結婚祝いや出産祝い、最近はペット友達へプレゼントなど、贈り物に使ってくださる方が多いですね。

—今までで一番大変だった作品は、どんなものですか？
だいたいなんでも作りますが、「だんじり」ですかね…。さまざまな角度から撮影した画像を何枚も見て、パーツをそろえて組み上げました。一日仕事でしたね。

—むしろ一日でできることにびっくりです！店頭ではどんなオーダーが多いですか？
子供たちはアニメのキャラクターです。何が流行っているのか、すぐわかりますよ（笑）。あとは、人やペットの似顔絵、ハロウィンやクリスマスなどの飾りなども作ります。

—たしかに、子供たちは喜びそうですね。
目の前でキャラクターができ上っていくところを見ると、喜んでくれますね。毎年出店していた小学校の文化祭では、いつもずらーっと行列ができてました。

—実演は本当に、想像以上の面白さでした！

そうなんです、写真で見るとは全然ちがうので、ぜひ実演を見に来ていただきたいですね。八尾でまた実演の機会があるとうれしいです。



四十路ライター・金輪際セメ子が八尾市内の気になる場所に潜入！身をもって体験してレポートします。



二代目 龍昇（笹本晋平さん）

初代龍昇が考案した「美術べっ甲飴」の技と心を受け継ぐ二代目。この道33年のキャリアを誇り、全国各地の百貨店等で実演販売を行っている。



できるかな？「猫」に挑戦！



1

美術べっ甲飴は、一筆書き。まず紙で書き順を確認します。「行って戻ってしながら描くから、線が太くなりすぎないように」と師匠からのアドバイス。

2

いよいよ鉄板に飴を流していきます。飴の温度は120度！砂糖と水飴と水を煮詰めることで、きれいな琥珀色になるそうです。今回は描きやすいように、少しゆるめに作ってくださいました。

3

あれ、ずいぶん大きくなりすぎた上、口の右側が極太になってしまいました。とろとろの飴で絵を描くのは想像以上の難しさ！下絵のようにはいきません…

4

もう一度練習させてもらって、三度目の正直！少し慣れたのか、今度はうまくいきそうな予感…。師匠のお手本を見ながら慎重に、少しずつ飴を流していきます。

5

いい感じにできたので、次は顔をつける作業に！目や鼻のパーツ（これも飴にクチナシなどで色をつけたもの）をつけていきます。接着剤も、もちろん飴！でもすぐ固まるし、糸を引くして、悪戦苦闘……。



6

できました～！飴で絵を描くのが、こんなに難しいとは！さらさら～と細かい線や複雑な絵柄を描いてしまう師匠は、やっぱりさすがでした！！この神技、ぜひ皆さんにも見てほしい！



美術べっ甲飴 八尾商店

※出店スケジュールはHPでご確認ください



セメ子の攻め込み体験レポート

part5

赤坂金型彫刻所で、金属加工をやってみた！編



金輪際セメ子

Yaomania編集・ライター。
中年太りが気になるビール好き。



昭和15年創業、『赤坂式半月彫刻法』という独自の技法を持つ赤坂金型彫刻所。繊細な金型彫刻を得意とし、＜コクール＞というアクセサリーブランドも展開されています。その技術のすごさを、三代目赤坂兵之助さんのもとで体験させてもらいました！

左手を失った祖父が編みだした、独自の技法

—『赤坂式半月彫刻法』とは、どのようなものなのでしょうか？
初代である私の祖父は、仕事上の事故で左手を失いました。普通ならそこで諦めちゃうと思うのですが、祖父は退院したその日に工房の鉄板などを使って装具を自作します。そして、切っ先の形状や力の入れ方などに工夫を重ね、装具を着けた状態で繊細な彫り物ができる技術を編みだしました。それが、『赤坂式半月彫刻法』です。

—初代が考案された技法なんですね。

その繊細な彫刻を可能にしているのが、半月一枚刃です。刃先が半月状になっていて、先端は細かいもので0.05mm以下になります。これを自分で研いでいるので、いろいろな表現ができるんです。

—え、この小さな刃先を、手作業で研いでいるんですか！？

グラインダーで削って整えていきます。顕微鏡で測定して、あとは当たった感触と音ですね。それを何度も繰り返して調整します。父や祖父の時代は当たり前でしたが、今では刃を研げる工場も少なくなっていますね。

—彫刻も手作業ですか？

半月一枚刃を、マシニングという機械にセットして彫刻します。通常マシニングにこのような構成の刃物を使うのは珍しいのですが、試行錯誤して最適化に成功しました。伝統の半月一枚刃と、コンピュータ制御による正確な加工技術を融合させることで、表現の幅が大きく広がりました。

クラウドファンディングで知った「買い手のドラマ」

—コクールという自社ブランドを立ち上げたきっかけは？

コロナ禍でBtoBの事業が厳しくなり、祖父のしていた彫金物の仕事を現代に甦らせようと挑戦しました。「みせるばやお」の「YAIOYA PROJECT」に参加し、そこでつながったクリエイターと共に台湾の「倒福（とうふく）」をモチーフにした＜コクール福＞を完成。クラウドファンディングで商品化することができました。



—クラウドファンディングの反応はいかがでしたか？

ありがたいことに、全国から多くの応援をいただきました。「就職のお祝いに贈りたい」「健康のお守りにしたい」など、買い手の方のドラマに触れられたのも、BtoCならではの良い経験になりました。

—これから作りたいものや、挑戦したいことはありますか？

現在大学で教えているので、この技術を若い人たちが受け継いでくれたらうれしいですね。それと同時に、将来的には自分の技術をAIで残す・伝えることができるのでは、とも考えています。また、海洋プラスチックゴミ問題の解決につながるPLA（生分解性樹脂）の実用化にも取り組んでいきたいと思っています。

三代目赤坂兵之助さん

子供の頃から工場が遊び場。代々受け継いだ技術に、先進のコンピュータ技術を組み合わせたハイブリッドなモノづくりを展開。大阪工業大学非常勤講師も務める。



機械をさわってみました！



1

刃先を研ぐグラインダーを体験。少し当たっただけで削れてしまうから難しい！この機械で刃先を0.05mmに研げる三代目、神すぎます。実は、人気の日本酒「獺祭スパークリング」の樹脂キャップの金型も三代目作。曲面にエッジの効いた彫刻を施す技は、さすがです！

2

次は平面彫刻盤にチャレンジ。左手側に半月一枚刃を取り付け、右手で原板の文字溝をなぞると、その動きが左手に伝わって原板と同じ文字が彫れます。「なぞるだけです」と三代目は仰いますが、すぐ溝からはみだします……。



WSでも人気の「打刻」体験！

1

何か私でもできるものを…とお願いして、ワークショップでも人気の「打刻」を体験することに。まずは、丸い金属プレートの表面を3種類の紙やすりで磨きます。



2

目の粗いものから順番にこすっていくと、少しずつ表面が光ってきます。さらにビカールで磨き上げてピカピカに！



3

いよいよ文字を打刻します。最初はsemekoのSから。打刻印を垂直に立て、まっすぐに金槌を下ろします！



4

完成～！今回の体験は、三代目の超絶技法に驚くばかり。刃物を研ぐ技術と使いこなす技術の両輪があってこそ、繊細な表現が可能なのだと納得しました！



赤坂金型彫刻所

〒581-0814 八尾市楠根町5-57-11
TEL 072-995-2853
<https://www.cho-cocu.com/>

